

令和6年度全国学力・学習状況調査の滝野中学校の結果をお知らせします。

1 教科に関する調査結果

【国語】 平均正答率は全国と同程度でした。数問の正答率のみで得意不得意を判断するのは難しいですが、複数の資料を読み解いたり、複数の条件を満たして書いたりする力に課題があります。漢字や文法事項の知識・技能については、授業や家庭学習で継続的な学習を行います。書くことについては、条件のある課題で、根拠を明確にして自分の考えが伝わる文章を書くトレーニングを行います。

【数学】 平均正答率は全国と同程度でした。文字を用いて整数や数量を表したり、文字式の表している意味を読み取ったりする力、一次関数の式とグラフの関係性を読み取る力に課題が見られます。今後も継続して、小テストの実施やドリルパークの活用など、学習習慣と計算などの基礎・基本の定着に取り組みます。また、グループやペアで、数学的用語を使って説明する活動や、証明を振り返って理解を深め、活用する練習を取り入れます。

2 生徒質問紙調査結果（「あてはまる」、「どちらかというにあてはまる」の合計割合）

(1)基本的な生活習慣・学習習慣	本校(%)	県(%)	全国(%)
朝食を、毎日食べている	96.4	90.9	91.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	81.4	80.0	80.7
分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することができている	88.5	75.6	78.6
1、2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	86.7	76.3	80.3
平日、1日あたり1時間以上(2時間以上)勉強する	64.6(25.7)	65.6(33.7)	64.3(31.7)
新聞を週1回以上読む	12.3	7.8	7.3
(2)挑戦心、規範意識、自己有用感			
自分にはよいところがある	85.8	83.0	83.3
将来の夢や目標をもっている	76.1	64.2	66.3
人が困っている時は、進んで助けている	86.8	89.9	90.1
いじめはどんな理由があってもいけないと思う	98.2	95.7	95.7
学校に行くのは楽しい	92.9	83.1	83.8
(3)その他(地域や社会に関わる活動状況、学習への意識、ICT活用状況等)			
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	85.0	76.1	76.1
困りごとや不安を、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	73.5	67.4	67.5
1,2年生の授業でタブレットなどICT機器を週3回以上使用した	85.9	55.2	64.4
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う	86.7	75.8	79.0
国語の勉強が好き	83.2	61.5	64.3
数学の勉強が好き	57.5	55.1	57.2
理科の勉強が好き	77.0	64.1	68.3

(1)の生活習慣、学習習慣は、学力と相関関係があると言われています。睡眠や朝食は、集中力や学習効果に大きく影響します。また、家庭学習の時間は十分ですか。4分の1の生徒が「30分以下もしくはしない」と回答しています。力を定着させるためには復習、繰り返しの学習が不可欠です。学習に対する意識については、「やろう」「わかる」「好き」の循環をよくすることが、学力アップにつながります。学習への意欲につながる授業づくりに努め、「やったらできた」経験を積み重ねることを目指します。(2)(3)の項目は、本校生徒のよいところが見られます。一人一人が自分のよさを感じ、自分らしさを発揮できるように、互いに認め、高めあう集団づくりに努めます。

調査結果を今後の学びにつなげ、ご家庭と連携しながら取り組んでまいります。